

萩博物館主任研究員  
**堀成夫**さん(46)



山口県の日本海沿岸には、対馬暖流と呼ばれる暖流が流れ込んでいます。暖流とは、そとと比べて温度が高い海流のことです。山口で見つかった熱帯性の貝は、子どものころ暖流に

流されて、そのまま山口の海に適應したのでしょう。徐々に海水温が上がっている証拠です。貝殻を研究していると、こうしたことがわかります。環境の変化について、いろいろと考えてほしいと思います。



# 山口県の君たちへ

講師からのメッセージ

29歳のとき、自然が豊かな長門市油谷地区に移り住みました。塩の製造、販売を行いながら、大規模な清掃活動「ビーチクリーン大作戦」にも取り組んでいます。森の栄養分が海に流れ込むことで、天然のうまみが凝縮された塩ができます。私たちの先祖は海から誕生しました。私たちの体も海と同じく塩分や水分でできています。海をきれいにすることは、自分たちの体をきれいにすることと同じなのです。



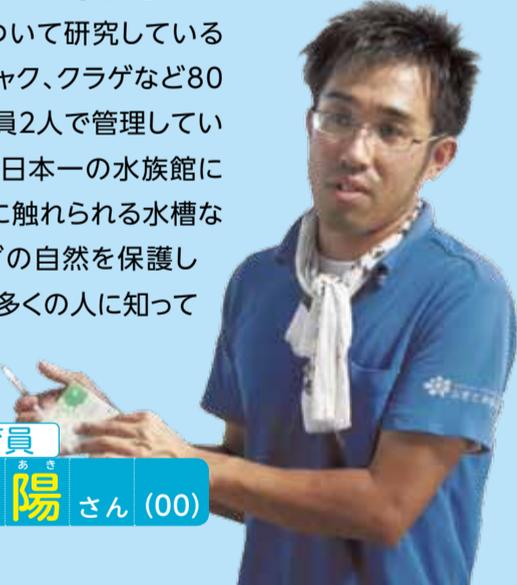
百姓庵代表  
**井上雄然**さん(45)

サーフィンを楽しんでいるときに、おぼれていた人を助けたのが、ライフセーバーとしての原点です。会の活動を支えてくれる仲間は約200人に増えました。最近、家の中でゲームばかりしている子どもたちが多いと聞きます。ときには海で思い切り遊んでほしいと思います。けがをすることなく、楽しい思い出だけを残すために、私たちの活動が少しでも役に立てばうれしいです。



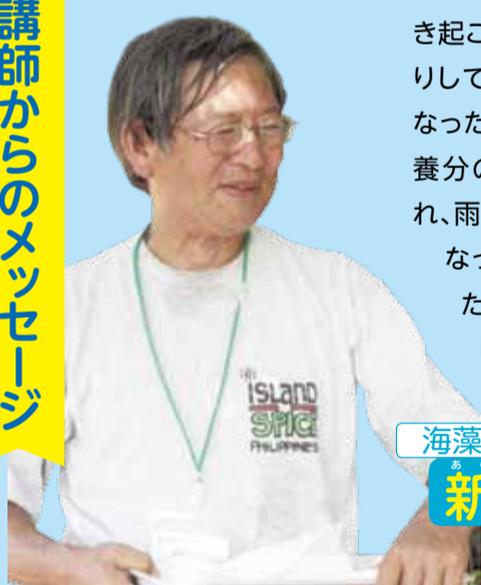
NPO法人コバルトブルー下関  
ライフセービングクラブ代表  
**新名文博**さん(51)

海がない埼玉県の出身です。2011年に周防大島に移住しました。水族館では、ニホンアワサンゴについて研究しているほか、魚やイソギンチャク、クラゲなど80種の水生生物を飼育員2人で管理しています。なぎさ水族館を日本一の水族館にすることと、生きものに触られる水槽などを通して、手つかずの自然を保護していくことの大切さを多くの人に知ってもらうのが目標です。



なぎさ水族館飼育員  
**内田博陽**さん(00)

研究所では、海藻と動物の関係について調べたり、藻を食べる魚が引き起こす「磯焼け」について研究したりしています。海的环境がおかしくなったのは、海底にわき出る里山の養分の出発点となる田畑が放置され、雨水が地中にしみこまないようになったことも原因です。放置された田畑の再生にも取り組み、美しい海を取り戻したいと思っています。



海藻研究所所長  
**新井章吾**さん(00)

## KODOMO新聞で 友だちに差をつける



- ・お電話をおかけいただくか、携帯電話・スマートフォンでQRコードを読み取ってお申し込みください。
- ・受付後、お住まいの配達を担当するYC(読売センター)に連絡させていただきます。
- ・申し込みの時期により配達が遅れる場合がございますのでご了承ください。

電話でのお問い合わせ・お申込み

携帯電話・スマートフォン

読売新聞西部本社 販売管理部  
**0120-4343-81**  
(受付時間 24時間受付)



一部対応していない機種もございます。その際はお電話をお願いいたします。

読売KODOMO新聞  
よみうりこども新聞

家計にやさしいワンコイン!  
月額 500円(税込み)  
無理なく読める週刊発行!  
毎週 木曜日 発行

おためしキャンペーン  
実施中!  
試し読みをご希望の方はお電話された際に「おためし」とお伝えください。

特別協力/小学館 協力/四谷大塚 オールカラー/タブロイド判20ページ

(個人情報の取り扱いについて)  
購読・試読のお申し込みでご提供いただいたお客様のお名前、お電話番号、ご住所は、読売新聞社(東京本社、大阪本社、西部本社)及びお近くの読売センター(YC)が共同で利用し、お客様からのご連絡やお問い合わせへの対応、販売促進キャンペーンのご案内等の送付、配達業務の遂行、各種サービス・イベントのお知らせ、ご購入のお勧め、ご購入延長、新聞以外の取扱商品のご案内、YC及び読売グループが協力・提携する企業の商品・サービスのご案内、宅配業務などに利用させていただく場合があります。お客様の個人情報は読売新聞社及びYCがそれぞれ責任をもって管理します。